

2025 年 5 月 13 日

「不動産データブック 2025」を発刊します

～ネット時代だからこそ、手元に一冊。この一冊が、あなたを支えます。～

この度、（公財）不動産流通推進センターは、「不動産データブック 2025」を発刊します。

不動産データブックは、当センターが 1989 年以来発行している「不動産統計集」をベースに、そのポイントの解説を付するとともに、掲載するデータを絞り込み、A5 サイズのコンパクトな冊子にまとめたもので、今回試行的に発刊することとしました。

不動産業の実務に携わる方はもとより、不動産と不動産業についての調査・研究に携わる方、不動産業に関心を有する方など幅広い方々が、我が国の不動産と不動産業の姿を把握するための手近なツールになるとともに、日頃から手元に置き参照・閲覧いただくことで、新たな気づき等が生まれ、さらに新たな取組等につながっていくことを期待しています。

当データブックは、多くの方に知っていただき、ご利用いただけるよう、全国の不動産関連団体等へ無償で配布するほか、5 月下旬に PDF を無償でダウンロードできるようになります。

本件に対する問い合わせ先：

不動産流通センター研究所

担当：山越 TEL：03-5843-2065

- 「不動産業統計集」は、年 2 回、当センターの Web サイトにて公表しており、不動産業の主要な業態である開発、流通、賃貸、管理の 4 分野と、不動産業に深く関連を有する経済社会情勢についてのデータをひとまとめにすることで、不動産業界の現状を捉えるものとして発行しています。同統計集も引き続き、Web サイトにて年 2 回更新し公表してまいります。

(<https://www.retpc.jp/chosa/tokei/>)



不動産流通推進センターホームページ
<https://www.retpc.jp/>

＜ニュースリリース問い合わせ先＞

公益財団法人 不動産流通推進センター
事業推進室 TEL：03-5843-2075

<参考>

「不動産データブック 2025」の概要

第2章「不動産開発」の要点

(1) 住宅建設

- 令和5年度の新設住宅着工戸数は約80万戸、床面積は約6,200万㎡であり、ともに2年連続で減少した。利用関係別にみると、持家は2年連続で減少し、貸家と分譲住宅は3年ぶりに減少した。[p.38]
- 令和5年度の一戸当たりの平均床面積は77.7㎡/戸であり、2年連続で減少した。利用関係別にみると、持家は10年連続で減少し、分譲住宅は2年連続で減少したが、貸家は3年連続で増加した。[p.39]
- 令和5年度の新設住宅を資金別にみると、民間資金の割合は91.75%であり、ほぼ横ばいの推移が続いている。[p.40]
- 令和5年度の全国の貸家の着工戸数を地域別にみると、首都圏・近畿圏・地方圏では前年の増加から再び減少に転じ、中部圏では前年の減少から再び増加に転じた。[p.41]
- 令和5年度の全国の住宅着工戸数に占める貸家の割合は42.5%を占めており、4年連続で増加した。[p.42]

(2) 住宅分譲

- 令和5年度の全国の戸建分譲住宅の着工戸数は約13万戸であり、前年度の増加から再び減少に転じた。地域別にみると、首都圏・地方圏では前年度の増加から再び減少に転じ、中部圏・近畿圏では2年連続で減少した。[p.43]
- 令和5年度の全国の分譲マンションの着工戸数は約10万戸であり、前年度の増加から再び減少に転じた。地域別にみると、首都圏・近畿圏・地方圏では前年度の増加から再び減少に転じたが、中部圏では前年度の減少から再び増加に転じた。[p.44]
- 令和5年末の分譲マンションのストック総数は約700万戸であり、増加が続いている。新規供給戸数は前年の減少から増加に転じた。[p.45]

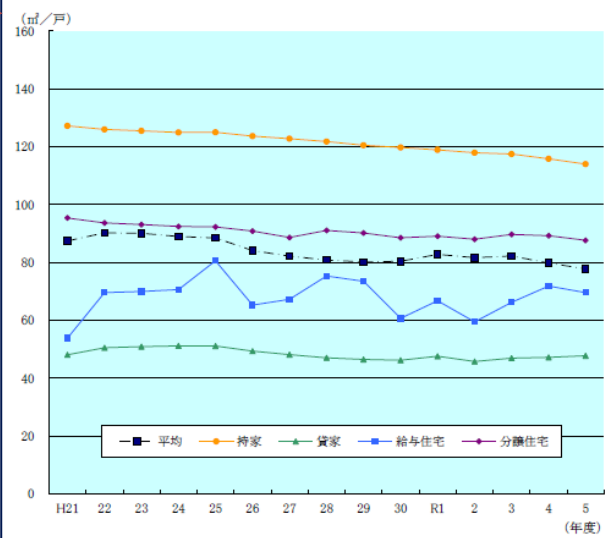
★ コンパクトなA5版の大きさです。

★ 各章冒頭に、データのポイントを解説した「要点」を掲載しています。

★ 「要点」には、掲載ページが付記されていますので、その内容をみてデータを参照することができます。

② 利用関係別一戸あたり平均床面積の推移

区分	平均	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅
H21年度	87.4	127.2	48.0	53.8	95.3
22年度	90.2	125.9	50.4	69.5	93.6
23年度	90.0	125.5	50.8	69.9	93.1
24年度	88.9	124.9	51.1	70.6	92.4
25年度	88.4	125.0	51.0	80.5	92.2
26年度	84.1	123.6	49.3	65.2	90.8
27年度	82.1	122.7	48.1	67.2	88.6
28年度	80.8	121.8	46.9	75.2	91.0
29年度	80.1	120.5	46.4	73.5	90.1
30年度	80.4	119.7	46.1	60.6	88.5
R1年度	82.7	118.9	47.5	66.7	89.0
2年度	81.6	117.9	45.7	59.4	88.0
3年度	82.2	117.4	46.9	66.1	89.7
4年度	79.8	115.8	47.1	71.8	89.2
5年度	77.7	114.0	47.7	69.5	87.6



資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」により、(公財)不動産流通推進センターにて算出。
一戸あたり平均床面積＝床面積合計÷戸数

2 不動産開発 - 39

第1章 不動産業の概況

第2章 不動産開発

第3章 不動産流通

第4章 不動産賃貸

第5章 不動産管理

第6章 土地

第7章 人口・世帯・住宅

第8章 経済・金融

★ 「不動産データブック 2025」

A5版 164ページ (カラー)

★ 本年は無償配布いたします。

★ 5月下旬に PDF を無償でダウンロードできるようになります。

不動産流通推進センターホームページ

<https://www.retpc.jp/>

<ニュースリリース問い合わせ先>

公益財団法人 不動産流通推進センター
事業推進室 TEL: 03-5843-2075